

生物多様性方針

制定：2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

1. 基本的な考え方

ブラウブリッツ秋田は、世界自然遺産「白神山地」をはじめ、烏海山や森吉山などの山々、男鹿半島や日本海沿岸、八郎湖、雄物川・米代川・子吉川に代表される河川、田園や里山など、秋田が有する多様で豊かな自然環境を、地域の暮らしや文化を支える大切な資源と考えています。それを踏まえ、クラブ活動が生物多様性に与える影響を最小化するとともに、地域の生態系の保全・回復・再生に積極的に貢献します。

2. 長期ビジョン

「控える・削減する・回復する・再生する」の4段階アプローチに基づき、クラブ活動に伴う自然環境への影響を段階的に低減するとともに、生態系の保全・再生につながる取り組みを推進します。地域コミュニティやパートナー企業、行政等と連携しながら、秋田の豊かな自然を次世代へつなぎ、自然と共生するクラブを目指します。

3. 目標

- ・ クラブ施設において生物多様性に配慮した設備(巣箱・昆虫ホテル・ビオトープ等)を2026年内に1か所以上設置する(施設管理者との協議を前提とする)
- ・ 河川・海岸清掃、森林・里山保全などの地域生態系保全活動を年3回以上実施する
- ・ ファン・サポーターへの生物多様性啓発活動(HPへの記事掲載やイベント実施等)を年3回以上行う

4. 取り組み内容

(1) クラブ施設における取り組み

- ・ クラブ施設内への野鳥の巣箱・昆虫ホテル・ビオトープの設置を推進します
- ・ 在来種を活用した緑化を検討・推進します(施設管理者との協議を前提とする)
- ・ 施設周辺の生態系に配慮した環境管理を推進します

(2) 地域活動への参画

- ・ 地域の清掃活動を継続的に実施します
- ・ ビーチクリーンアップ等の自然保護活動を継続・拡充します
- ・ 松枯れ被害など地域の自然環境課題への対策として、植樹・植林活動を実施・支援します
- ・ クマ(ツキノワグマ)被害の防止に向け、正しい理解と安全対策の普及啓発に取り組みます

(3) 啓発・教育活動

- ・ ホームゲームおよびホームタウン活動を通じて、ファン・サポーターへの啓発活動を実施します
- ・ 公式HPおよびSNSを活用した、地域の生態系・自然保護の重要性に関する情報発信を行います

※ ソユースタジアム(秋田市八橋運動公園陸上競技場)は施設管理者が秋田市であるため、施設設備に関わる変更・改善は施設管理者との協議を前提とします。

本方針はサステナビリティ基本方針(2026年制定)に紐づく個別方針です。